

## 1-1 日本とその周辺の地震活動（2005年11月～2006年4月）

### Seismic Activity in and around Japan (November 2005 - April 2006)

気象庁・地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, JMA

今期間、日本とその周辺でM5.0以上は60回、M6.0以上は9回、M7.0以上は1回発生した。このうち最大は、2005年11月15日に宮城県沖で発生したM7.2の地震であった。

2005年11月～2006年4月のM5.0以上の震央分布を第1図に示す。

主な地震活動は以下の通りである。

#### (1) 北海道地方とその周辺の地震活動（本巻「北海道地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

特に目立った活動はなかった。

#### (2) 東北地方とその周辺の地震活動（本巻「東北地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

2005年11月15日に三陸沖でM7.2（最大震度3）の地震が発生した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ正断層型であり、太平洋プレート内部の浅いところで発生したと考えられる。地震活動は本震－余震型で、本震発生後数日間の余震活動は活発であったが、その後は次第に低下した。

この地震により津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸で津波が観測された。最も高い津波が観測されたのは、岩手県大船渡(42cm：暫定値)であった。

#### (3) 関東・中部地方とその周辺の地震活動（本巻「関東・中部地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

2006年に入ってから、1、2、3、4月と伊豆半島東方沖で活発な地震活動があり、この間、東伊豆の体積歪計に縮み変化が現れた。

これらの活動の中で一番活発だった地震活動は、2006年4月17日から始まるものであり、最大の地震は4月21日02時50分に発生したM5.8（最大震度4）の地震であった。この地震の後それまでの活動域より南側に地震活動が拡大したほか、活動域の周辺で4月30日にM4.5（最大震度5弱）、5月2日にM5.1（最大震度4）の地震が発生するなど、やや大きめの地震が発生した。（本巻「2006年の伊豆半島東方沖の地震活動の概要」の頁参照）。

#### (4) 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動（本巻「近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

特に目立った活動はなかった。

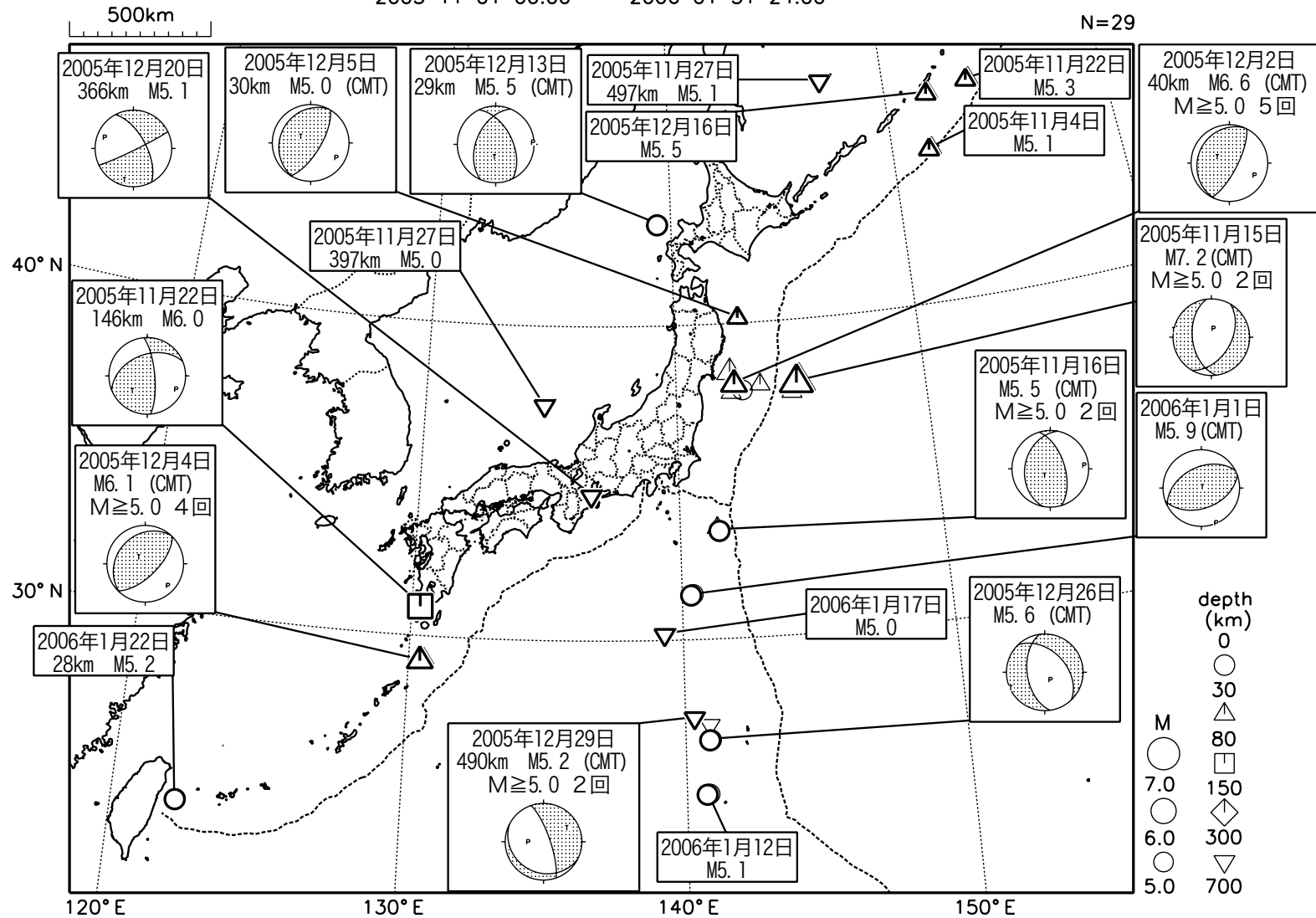
#### (5) 九州地方とその周辺の地震活動（本巻「九州地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

3月27日11時50分に日向灘の深さ35kmでM5.5（最大震度5弱）の地震が発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。余震活動は小規模ではあるが27日中はやや活発であった。その後散発的に続いていたが、4月下旬には収まってきている。

- (6) 沖縄地方とその周辺の地震活動（本巻「沖縄地方とその周辺の地震活動」の頁参照）  
特に目立った活動はなかった。

日本とその周辺の地震活動 (2005年11月~2006年1月、 $M \geq 5.0$ )

2005 11 01 00:00 -- 2006 01 31 24:00

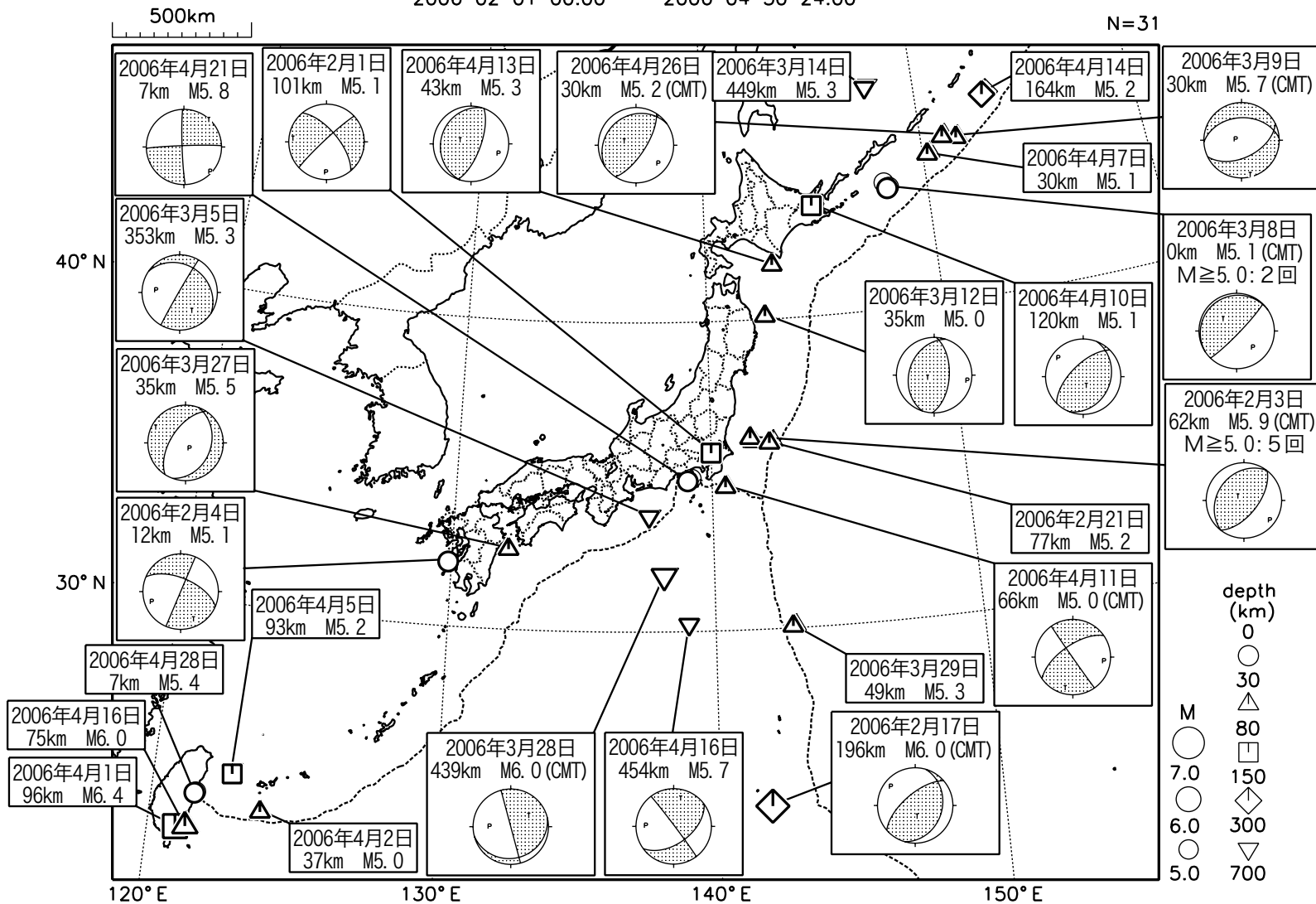


第1図 (a) 日本とその周辺の地震活動 (2005年11月~2006年1月,  $M \geq 5.0$ , 深さ $\leq 700$  km)

Fig.1(a) Seismic Activity in and around Japan (November 2005 - January 2006,  $M \geq 5.0$ , depth $\leq 700$  km).

日本とその周辺の地震活動 (2006年2月~2006年4月、 $M \geq 5.0$ )

2006 02 01 00:00 -- 2006 04 30 24:00



第1図 (b) つづき (2006年2月~4月,  $M \geq 5.0$ , 深さ $\leq$ 700 km)

Fig.1(b) continued (February - April 2006,  $M \geq 5.0$ , depth $\leq$ 700 km).